

## 市国民健康保険の運営状況のお知らせ ～平成25年度決算～

■問合せ 保険年金課(本庁舎)

国民健康保険(国保)は、同じ地域に住む方々が相互扶助の精神に基づき、けがや病気をしたときに安心して医療機関にかかるよう保険税を出し合い、皆で助け合う制度です。

本市では、人口の約4分の1の約9,000世帯、17,000人が加入されています。国保は、国民皆保険の基盤を支えるものであり、他の公的医療保険に加入されていない方を被保険者としているため、長引く経済情勢の悪化や高齢化の影響により、保険税収入の低迷や医療費の伸びによる保険給付費の増加など、その財政運営は大変厳しいものとなっています。

### ◎国保財政の現状

国民健康保険の歳入には、皆様の保険税、国・県からの補助金、支払基金からの交付金、市からの繰入金などがあります。

補助金・交付金は41億965万9千円で歳入の58.6%、保険税は13億7,820万7千円で19.7%を占め、皆様の保険税は国保を支える重要な財源となっています。

歳出は医療費の支払い(保険給付費)が42億5,935万5千円、後期高齢拠出金と介護納付金は13億568万4千円で85.5%を占めています。

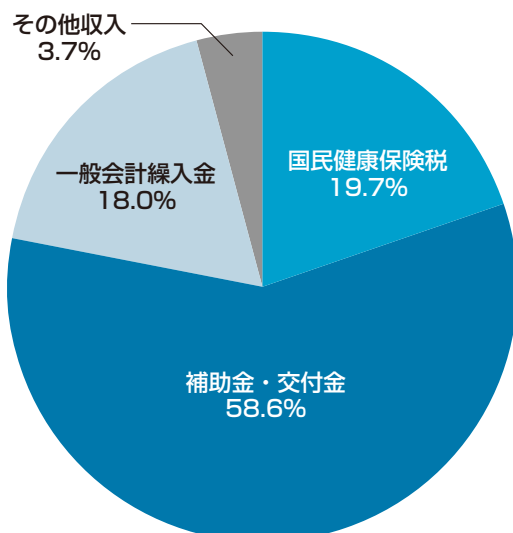
平成25年度の決算においては、歳入が70億円余、歳出が65億円余と黒字での収支となりますが、一般会計から12億円余の繰入を行っている状況です。

平成25年度国保特別会計の決算状況については、次のグラフのとおりとなっています。

### 平成25年度国民健康保険特別会計決算歳入・歳出額及び内訳について

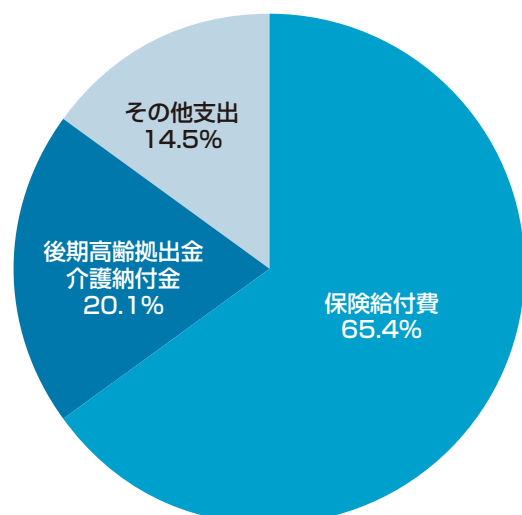
決算収支 歳入 7,011,045千円 - 歳出 6,510,795千円 = 500,250千円

**歳入** 70億1,104万5千円



保険税収入は、全体の約20%となっており、国・県の補助金などが歳入の大部分を占めています。

**歳出** 65億1,079万5千円



医療機関に支払う保険給付は、全体の約65%を占めており、高齢化や医療の高度化などにより年々増加傾向にあります。

## 決算の内訳

歳入(千円)		構成比(%)
国民健康保険税	1,378,207	19.7%
補助金・交付金	4,109,659	58.6%
一般会計繰入金	1,262,103	18.0%
その他収入	261,076	3.7%
合計	7,011,045	100%

### 【内容】

**国民健康保険税**：納めていただいた国保税  
**補助金・交付金**

**補助金**：国・県が負担する負担金や交付金

**交付金**：支払基金が支出する交付金

**一般会計繰入金**：一般会計からの繰入で法定分  
 とその他繰入金があります。

歳出(千円)		構成比(%)
保険給付費	4,259,355	65.4%
後期高齢拠出金 ・介護納付金	1,305,684	20.1%
その他支出	945,756	14.5%
合計	6,510,795	100%

### 【内容】

**保険給付費**：医療費などの支払いに充てる費用

**後期高齢拠出金**：後期高齢者医療制度の運営に  
 充てる支援金など

※高齢化などにより後期高齢者医療が増加し  
 ているため増加の傾向

**介護納付金**：介護保険の運営に充てる納付金

※介護保険の増加により全体で増加の傾向

## ◎国保財政の健全な運営を目指して

国保加入者の皆様が、安心して医療を受け、健やかに暮らせる環境の維持・確保を図り、国保財政の健全な運営を目指すため、次のような取り組みを実施しています。お互いを支え助け合う国民健康保険制度の趣旨をご理解いただき、運営の健全化にご協力をお願いします。

### 【歳入確保のための主な取り組み】

- 納付相談や早期の納付勧奨による収入の確保
- 公平性確保の観点から預貯金の差し押さえなどの滞納処分や延滞金の徴収

### 【歳出抑制のための主な取り組み】

- 医療費の適正化のため、特定健康診査等の受診率向上対策や後発(ジェネリック)医薬品の使用促進対策
- レセプト情報の分析による請求誤りなどの返還請求

### 国保運営協議会開催

＝収支均衡策と運営のあり方＝

国民健康保険特別会計は、厳しい運営が続いていることから、「収支均衡策を含む運営のあり方」について、去る7月30日市役所本庁舎の会議室で、清須市国民健康保険運営協議会が開催されました。年度末までに2回の会議が予定されており、委員から更に意見を聞き、とりまとめる見込みです。

### 保険税収入の伸び悩み

平成25年度の国民健康保険税の決算額は、約13億7820万円で、平成23年度と比較すると、低い水準にとどまっています。要因は、被保険者数が減少していることと、一人あたりの納税額がほぼ横ばいにあることです。

### 保険給付費など支出は増加

委員からは、保険給付費の増加理由、後期高齢者支援金や介護納付金の動向について質問がありました。

医療の高度化や高齢化、介護認定者数の増加などにより、保険給付費、後期高齢者支援金及び介護納付金は増加傾向にあり、引き続き協議をしていく予定です。

問合せ 保険年金課(本庁舎)